

じゅくこう

永代経法要 厳修



十月十六日(土) 昼と夜の二座「永代経法要」を厳修することができました。久しぶりに法要が始まることを知らせる喚鐘を打ち、身が引き締まる思いでおつとめをさせていただけたこと、本当に嬉しく思います。ご講師には若林真人先生をお迎えして、ゆっくりとお聴聞させていただくことも叶いました。

「これより西方、十萬億

もの仏国土を過ぎて、世界があるが、それを名づけて極楽という。その仏国土には仏がおり、阿弥陀と号する。いま、現にましまして真理を説く。」とのご讃題です。ここから西の方遠くに極楽浄土があります。本当はどこにお浄土があつても差し支えはないけれど、西に夕日が沈んでいく様をいのちの行き先と重ねて西方と言われたのでしょうか。そのお浄土に阿弥陀さまはおられ、この私に向けて、必ずこのお浄土に仏として生まれさせると、今はたらいておられるのです、このお味わいでした。ある時、先生がホームセ

第31号
(通算371号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

ンターに法衣のまま買物に行かれたそうです。その際、見ず知らずのご婦人に「亡くなった人には会えますか？」と突然尋ねられたとのこと。先生は間髪入れずに「会えます」「あなたも、私も必ずお浄土へまいります」としつかりお伝えになったそうです。阿弥陀さまは私たちを分け隔てすることなく必ず浄土へ迎え取ると誓われ、六字のお名号の中にそのはたらきをすべて込めて届けてください。だからこそ亡き方もまた会えるという安心の世界が広がります。もちろん私も、そのように聞かせていただいておりますが、言い切ってくださいました若林先生の表現に感動を覚えました。いのちの解決は間違いありません。

浄覚寺ヨガ教室

- ・11月17日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットは貸し出しもありますので、どなたでもご参加いただけます。

浄覚寺ヨガ教室

十月二十日(水) 十名の参加をいただいて「浄覚寺ヨガ教室」を開催しました。始めはあぐらをかき、目を閉じてゆっくり呼吸をしながら自分の身体を見つめます。その後、座つての動きとなり、立った状態へと移行していきます。最後は仰向けになり目をつぶるのですが、あまりの心地よさについて眠ってしまいました。毎月第三水曜日に開催しています。ご参加ください。



仏法聴聞に

卒業はない

この身ある限り



御文章に聞く(第27回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

機法きほう一いつ体たい章しょう(四帖第十一通)
 弥陀やだのたすけたまう法ほうなるが
 阿弥あみ陀だといえるはこのころ
 なり、これすなわちわれらが往
 生の定まりたる・他力の信心な
 りとは・心得べきものなり、
 あなかしこ あなかしこ
 明応六年五月二十五日これを
 書きおわる 八十三歳

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。機法一いつ体たい章しょうを続けてきました。最後の部分となります。まずは大意から。「このように南無阿弥陀仏の六字は、阿弥陀仏をたのむ者を、たすけたまう、本願力のすくいのおれをあらわされていますから、これを機法一いつ体たいの南無

仏教語辞典



水分を多く含んで燃えにくい
 ため、お寺の境内に植えられて
 いることが多い。西本願寺には
 樹齢四百年の大銀杏(天然記念
 物)があり、かつて本願寺が火
 災にあつた時に、この銀杏から
 水が噴き出し、火を消し止めた
 という伝説があり、「水吹き銀
 杏」と呼ばれている。

銀杏

『気になる仏教語辞典』
 著・麻田弘潤 誠文堂新光社
 仏教にまつわる用語をイラストと
 わかりやすい言葉で読み解かれてい
 ます。ぜひお買い求めください。

阿弥陀あみだ仏ぶつといわれたのです。これが私
 たちの往生決定した他力の信心である
 と心得ることなのです。
 明応六年五月二十五日これを書き終
 えました。八十三歳」
 南無阿弥陀仏の六字を分けて考える
 と、「南無」とは阿弥陀さまにおまか
 せする「機(信心の者)」をあらわし、
 「阿弥陀仏」とは阿弥陀さまが必ず私
 を助けるはたらきである「法(本願力)」
 をあらわしています。ただ、凡夫は何
 のきっかけもなく阿弥陀仏をたのむと
 いうような信心を起すことはできな
 いので、それは阿弥陀さまから先に
 「法」が届いているからであると見抜
 かれたのが蓮如上人でした。つまりは
 「機」も「法」も阿弥陀さまがしつら
 えてくださったのものであるから「機法
 一体」と表現するのです。

編集後記

今月も「じゅごう」をお届け致します。
 先日永代経法要でこんなご法話を聞きま
 した。「餅」には二種類あります。つきたて
 の柔らかいお餅と、時間がたつて硬くなつた
 お餅です。どちらも同じお餅です。ときに
 「もち肌」という言葉があります。この時の
 肌は間違まちがいなく柔らかいことを指しますが、
 硬くなつてしまつた肌ももち肌で間違まちがいでは
 なかったのです。ところが私たちは柔らかい
 肌を是として求めてしまいます。どんな肌で
 あつても、どんな私であつても認めてくださ
 るのが阿弥陀さまでありました。

※浄覚寺門信徒会臨時総会のご案内が届きま
 した方は、是非ともご出席もしくは委任状の
 返信をお願い申し上げます。
 (釋法道)

行事案内

お配りしている年間法要行事表には津村別院
 と頭かぶ証しやう寺じやうさしあへの報ほう恩おん講かう参さん拜ぱいを予定してあり、ま
 した。ししかかししななががらら、ころろナナ禍わざはひの影かげ響ひびくにより、ま
 両りょう院いんともともにに規き模もをを縮ちぢ小こ山さんよりより参さん拜ぱいささせせるるたただだくく連れん絡らく
 があり、ままたた規き模もをを縮ちぢ小こ山さんよりより参さん拜ぱいささせせるるたただだくく連れん絡らく
 合が、電でん車しゃややタタククシシーーをを利り用ようすするるたためめ、ただだくく連れん絡らく
 と合が、電でん車しゃややタタククシシーーをを利り用ようすするるたためめ、ただだくく連れん絡らく
 了りょうしてしてのの案あん内ないはは中ちゆう止しととささせせてていいたただだききまますす。
 了りょうしてしてのの案あん内ないはは中ちゆう止しととささせせてていいたただだききまますす。
 ご了承ください。(11月15日・27日のお参りは通常通りお伺い致します)



12月19日(日) 13時~16時

浄覚寺ごとも会冬のごとし

